

岡山大病院で 脳死肺移植開始

岡山大病院（岡山市北区
鹿田町）で18日午後5時39
分、気管支が細くなり呼吸
困難になる閉塞性細気管支
炎を患う40代男性への脳死
肺移植が始まった。

大藤剛宏肺移植チーフを
執刀医とするチーム約20人
が担当し、片方の肺を移植。
男性は2012年11月、日
本臓器移植ネットワークに
登録していた。

ネットワークによると、
ドナー（臓器提供者）は北
海道大病院に低酸素性脳
症で入院していた20代男
性。

岡山大病院の脳死肺移植
は62例目、生体と合わせて
139例目。

2015年2月19日 山陽新聞朝刊 28ページ

(C)山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。